

平成 29 年度「宇宙科学情報解析シンポジウム」プログラム

日時：平成 30 年 2 月 16 日（金）

場所：宇宙科学研究所 A 棟入札会議室

10:00 開会挨拶 高木 亮治

1. 10:00-10:45 ISAS データ・システム （座長：三浦 昭）

10:05-10:25 -ISAS 科学衛星データアーカイブシステムの課題と将来システム構想
大原 万里奈(JAXA)・高木 亮治(JAXA)・山本 幸生(JAXA)・浮邊 仁浩(JAXA)

10:25-10:45 -「宇宙科学研究所のデータポリシー」について
海老沢 研(JAXA)

2. 10:45-12:05 データ解析 （座長：松崎 恵一）

10:45-11:05 -単一空撮画像による地形復元に基づく日照領域予測
佐野 俊太(東京大学大学院)・橋本 樹明(JAXA)

11:05-11:25 -任意次数・位数の球面調和関数展開と球面上 2 次元フーリエ級数展開の間の
変換
福島 登志夫(国立天文台)

11:25-11:45 -恒星データベースを活用した限界等級決定アプリケーションの開発
村上 弘志(東北学院大学)・齊藤 妃那(東北学院大学・学)

11:45-12:05 -メニーコア CPU による高性能計算
高木 亮治(JAXA)

12:05-13:30 昼休み

13:30-14:10 招待講演 （座長：海老沢 研）

“天文学におけるデータ科学的方法”

池田 思朗

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 教授

3. 14:10-15:10 データアーカイブ (座長：海老沢 研)

14:10-14:30 -赤外 (AKARI, WISE) , 可視, 分光 (SDSS, 6dF, 2MRS) アーカイブデータをフル活用した近傍赤外光度関数の構築

Goto Tomo (台湾国立清華大学) ・ Kilerci Eser Ece (台湾国立清華大学)

14:30-14:50 -ISS 船外実験プラットフォームに搭載された MAXI と CALET-CGBM のデータアーカイブ

中平 聡志 (理化学研究所) ・ 海老沢 研 (JAXA) ・ 菅原 泰晴 (JAXA) ・ 古庄 多恵 (JAXA) ・ 杉崎 睦 (理研) ・ 芹野 素子 (青学大) ・ 根来 均 (日大) ・ 吉田 篤正 (青学大) ・ 坂本 貴紀 (青学大) ・ 山岡 和貴 (名大) ・ 川久保 雄太 (青学大) ・ 浅岡 陽一 (早大) ・ 小澤 俊介 (早大) ・ 鳥居 祥二 (早大)

14:50-15:10 -HSC+PFS science server

山田 善彦 (国立天文台) ・ *1 田中 賢幸 ・ 高田 唯史 ・ 古澤 久徳 ・ 大倉 悠貴 ・ 峯尾 聡吾 ・ 小池 美知太郎 ・ 池田 浩之 ・ 大石 晋恵 *1 国立天文台

15:10-15:20 休憩

4. 15:20-16:20 可視化・アウトリーチ (座長：高木 亮治)

15:20-15:40 -デジタル地球儀 Dagik Earth のためのマルチタッチパネルの開発

小山 幸伸 (大分工業高等専門学校)

15:40-16:00 -オープンデータを用いた天文教育の効果について -データ利用のむかしと今
木村 かおる (日本科学振興財団・科学技術館)

16:00-16:20 -「はやぶさ 2」ハードウェアシミュレータに係るレイトレーシングソフトウェアの開発

三浦 昭 (JAXA) ・ 武井 悠人 (JAXA) ・ 山口 智宏 (JAXA) ・ 高橋 忠輝 (JAXA) ・ 佐伯 孝尚 (JAXA)

5. 16:20-17:40 機械学習・深層学習 (座長：山本 幸生)

16:20-16:40 -かぐや DEM を用いた, 機械学習による中央丘クレーター識別

原 聡志 (首都大学東京, 石川研究室)

16:40-17:00 -機械学習を用いた CALET イベントデータの識別方法

小門 都澄（芝浦工業大学大学院）・古谷 泰愛（芝工大・院）・吉田 健二（芝工大）

17:00-17:20 -深層学習を用いた SAR 画像からの船舶識別及び FPGA の実装に関する一検討

橋本 真太郎(JAXA)・杉本 洋平(JAXA)・濱本 昂(JAXA)・石濱 直樹(JAXA)

17:20-17:40 -機械学習を用いた宇宙機の故障検知

杉江 卓哉(株式会社セック)・梅津 里香(セック)・竹島 敏明(JAXA)・海老沢 研
(JAXA)・長瀬 雅之(セック)・湖海 亮(セック)

17:40 閉会挨拶 海老沢 研

18:00-20:00 懇親会 宇宙研 食堂

以上